

2023年10月26日

報道関係 各位

住友不動産株式会社

2,000名超が参加 巨大ビジネスマッチングイベント 「住友不動産ベンチャーサミット」開催

～あらゆる人を繋ぐ“場”を提供し、スタートアップ・エコシステムの強化に貢献～

住友不動産株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:仁島 浩順)は、2023年10月24日(火)に、新宿住友ビル三角広場において、2,000名超が参加した巨大ビジネスマッチングイベント「住友不動産ベンチャーサミット」を開催いたしましたのでお知らせいたします。



＜住友不動産ベンチャーサミットの様子＞

＜新宿住友ビル 外観＞

本イベントの背景としては、日本におけるスタートアップの育成環境が諸外国と比較して劣後している現状があります。政府も2022年11月に「スタートアップ育成5か年計画」と題したスタートアップエコシステムの強化に向けた方針を発表しました。この中では、2020年における日本のスタートアップ投資額は43億ドル*で、アメリカ(1,429億ドル)の約33分の1に留まっていることが指摘され、その対策としてスタートアップの担い手を多数育成し、その起業を加速させることや、スタートアップへの公的資本を含む資金供給の拡大などを打ち出し、2027年までにスタートアップ投資額を10兆円規模に増加させることを目標としています。

この目標を実現させるためには、国や地方自治体などの行政のみならず、民間企業によるあらゆるリソースを活用した包括的なスタートアップ支援への取り組みが不可欠です。当社は総合不動産会社として、今後もリーズナブルでスタートアップ企業のニーズに即したオフィスの提供を続けるとともに、テナント企業やベンチャーキャピタルとスタートアップ企業を繋ぐ機会を創出することで、スタートアップの育成環境強化に貢献してまいります。

*: 当時のレート 1ドル=106.8円で換算

【イベント概要】

・ピッチコンテスト

ピッチコンテストでは、事前にエントリーがあった130社以上から厳選された15社が登壇いたしました。業界を代表する9名の審査員によって優勝企業、準優勝企業、特別賞(5賞)が決定・表彰されました。受賞各社は、資金調達や人事労務、広告、コンサルなど企業成長には欠かせないサービスを受けることができ、本イベントをきっかけに更なる成長が期待できます。

優勝	株式会社Leaner Technologies
準優勝	CrossBorder株式会社
AGSコンサルティング賞	ランディット株式会社
サイバーエージェントキャピタル賞	株式会社カエカ
EggFORWARD賞	トリニティ・テクノロジー株式会社
博報堂DYメディアパートナーズ賞	株式会社トランスファーデータ
SBIインベストメント賞	株式会社トランスファーデータ



＜表彰式の様子＞

優勝企業 株式会社Leaner Technologies 代表取締役CEO 大平 裕介氏 コメント

優勝することができ、素直に嬉しく思っています。我々は調達DXというテーマではございますがその中でも「日本の可能性」をスタートアップ企業がお見せできた一日になったのではないかと思います。また、登壇者としては人生で一番大きな会場でのピッチイベントに参加させていただき、楽しくピッチすることが出来ました。本日はありがとうございました。

・トークセッション

当日開催された2つのトークセッションでは、それぞれ「企業を牽引するオープンイノベーションとは」「企業成長を促す働き方・オフィスとは」をテーマに45分間の意見交換が展開されました。トークの中では、「『無関係と思っている人』を巻き込むことの重要性」や「企業の人材採用力を向上させるオフィス施策」について議論が交わされ、聴講者の新たな気づきやアイデアに繋がるセッションとなりました。



＜セッションの様子①＞



＜セッションの様子②＞

・商談ブース

事前に専用サイトで参加者名簿を公開し、当日までにマッチングが成立した企業同士が商談に使っていただけるブースを設置いたしました。計44ブースを提供し、334件の商談機会を参加者の皆様へご提供いたしました。



＜商談ブースの様子＞

＜本件に関する企業お問い合わせ先＞

住友不動産株式会社 ビル事業本部 グロースサポート事業部

MAIL: growthsupport@j.sumitomo-rd.co.jp

【イベント概要】

・展示ブース

会場内に設置した展示ブースでは、計112社の企業が出展し自社の製品・サービスを紹介できる場所を設け、当日その場でのビジネスマッチングを創出しました。登壇企業だけではなく、イベントに参加した約2,000名全員に将来の取引先との出会いを提供することでスタートアップエコシステムの強化を後押ししました。



＜展示ブースの様子＞

・懇親会

イベント終了後には、舞台を新宿住友ビル内 新宿住友ホールに移し、立食形式での懇親会を開催いたしました。イベント中に興味・関心を持った企業に対して直接アプローチすることができ、協業や資金調達に向けた忌憚のない意見交換をしていただける場といたしました。



＜懇親会の様子＞

(参考)

インキュベーションオフィスの新ブランド「GROWTH(グロース)」

当社は、次世代を担うスタートアップ企業や起業家を支援するため、新たなブランド「GROWTH(グロース)」を立ち上げ、スタートアップフレンドリーなオフィスを2024年春までに東京都心7施設および関西圏2施設(大阪・京都)の合計9施設に拡大展開することを決定いたしました。

当ブランド「GROWTH」は、比較的資金力が劣るシードステージや創業期のスタートアップ企業を支援するため、通常より敷金を抑え、即入居可能な通信環境完備の家具付きセットオフィスをご用意することで初期費用を低減いたします。また、席単位から個室まで成長段階に合わせた賃貸契約をフレキシブルに対応いたします。(※法人登記も可能)

また、国内ベンチャーキャピタル各社と共同運営する一部施設では、現役ベンチャー・キャピタリストによる人材採用や事業成長、資金調達などの助言サポートを受けられるとともに、起業家同士のコミュニティづくりを促進する交流会の開催などを通じて、スタートアップ企業の成長を後押しします。



＜グロース六本木＞

＜グロース渋谷＞

＜本件に関する企業お問い合わせ先＞

住友不動産株式会社 ビル事業本部 グロースサポート事業部

MAIL : growthsupport@j.sumitomo-rd.co.jp

■日本・東京のスタートアップ企業育成環境における国際的な遅れ

日本の2023年10月時点でのスタートアップ企業数は、608社となっております。一方、ランキング首位のアメリカ(76,771社)とは約130倍の乖離があり、同じアジア圏の国と比較しても、インドネシア(2,524社)やシンガポール(1,166社)に対しても後れを取っていることが示されています。

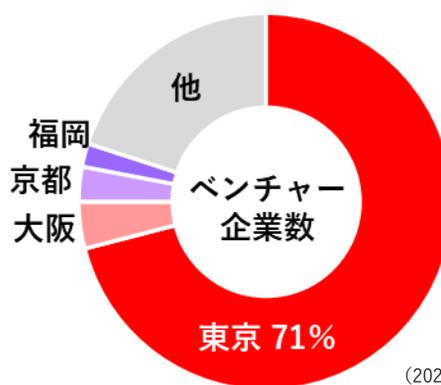
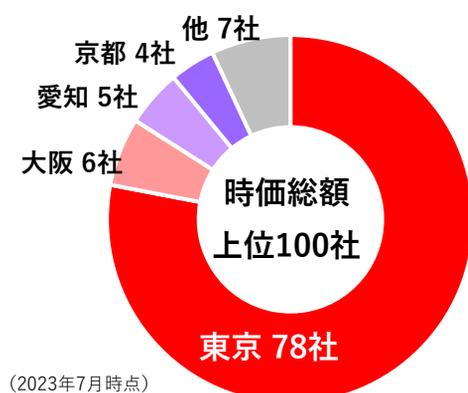
(※<https://www.startupranking.com/countries>より)

スタートアップ企業の育成環境として、スタートアップ・エコシステムという概念が徐々に浸透し始めてきました。Startup Genomeによるスタートアップ・エコシステムランキングでは、2022年において東京は12位(2021年は9位)という評価をされており、アジアの都市としては北京・テルアビブ・上海・ソウルについて5番目という結果となりました。東京のスタートアップ・エコシステムの価値は年々向上しているものの、ランキングにおいては順位が低下しており、諸外国のスタートアップ・エコシステム価値の成長に対してスピードが追いついていないと言えます。

1位	シリコンバレー	6位	ロサンゼルス	11位	ワシントンD.C.
2位	ニューヨーク	7位	テルアビブ	12位	東京
3位	ロンドン	8位	上海	13位	サンディエゴ
4位	ボストン	9位	シアトル	14位	アムステルダム
5位	北京	10位	ソウル	15位	パリ

現状、国内上場企業3,912社(2023年10月20日現在)の約半数が東京に本社を構えており、時価総額上位100社にいたっては内78社の本社所在地が東京となっています(2023年7月時点)。国内のスタートアップ企業についても約7割が東京に集中しており、さまざまなステージの企業が東京に一極集中しています。

企業集積



※スタートアップ情報プラットフォーム「INITIAL」のデータをもとに、当社が独自に作成
ベンチャー企業：1億超調達、継続調査中 4,450社 投資家：国内VC、金融1,464社

東京には、企業に加え人材や金融資産、事業ノウハウなどが集積しているため、スタートアップ企業が育つポテンシャルがあり、官民の垣根を越えてこのポテンシャルを活かしていくことが不可欠です。

当社は今後も、スタートアップフレンドリーな働く“場”とスタートアップ・エコシステムの強化に資する交流の“場”を提供することで、スタートアップ企業の成長を後押ししてまいります。